

NEWS LETTER

No. 1



- 本市の児童生徒は年々減少傾向にあり、加えて学校施設の老朽化が進んでいることから、子供たちにとってより良い教育環境の見直しや整備が求められます。
- 本市では、未来を担う子どもたちが、心豊かでたくましく自立した人間として育つよう、市内すべての小中学校を対象とした具体的な学校の再編や建替について「各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会」を設立し、調査・審議を進めていきます。

第1回各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会を開催しました

令和7年5日27日（火）午前9時から第1回各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会を各務原市那加第一小学校で開催しました。

丹羽章教育長から、学識経験者や各種団体の代表者、公募で選ばれた市民などに委嘱を行いました。

その後、委員長と副委員長の選出、「各務原市学校適正規模・適正配置等に関する基本計画（令和2年策定）」の見直しと具体的な学校の再編などについて諮問が行われたほか、検討を行う背景や現状、および業務概要の確認などが行われました。



委員会の委員長には、岐阜女子大学学長の高口委員が、副委員長には岐阜大学教授の坂本委員が選出されました。

高口委員長は、「子どもたちの力になれるように尽力したいと、意気込みを述べました。」

第1回委員会の様子 ▶

◀ 丹羽章教育長より、高口委員長へ諮問



取組の背景や各務原市の現状についてお伝えします

- ① 令和2年に、学校教育の充実を図り、子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、「各務原市学校適正規模・適正配置等に関する基本計画」を策定しました。
この基本計画では、適正化すべき小規模校の範囲（6学級以下で、児童生徒数120人以下）を定めるとともに、将来推計を行いました。
将来推計の結果、5つの小学校（尾崎小、稲羽東小、緑苑小、八木山小、各務小）は、近い将来、適正化すべき小規模校に該当する可能性が示されましたが、早急に学校規模の適正化に向けた検討は開始せず、引き続き状況を注視し、将来的に基本計画の見直しをすることとしました。
- ② 基本計画策定から5年が経過した、令和7年5月時点の児童生徒数は以下のとおりとなっています。
児童生徒数は依然として減少傾向にあります。
- ③ 学校施設の老朽化が進んでおり、建替を必要とする時期が迫っています。
学校施設は、長期にわたって使用するため、各学校の規模や配置の在り方について検討したうえで、建替を行う必要があります。

（参考）児童生徒数及び学級数（令和7年5月）

学校名	児童数	学級数	
		通常	特支
那加第一	895	28	7
那加第二	456	16	2
那加第三	422	13	3
尾崎	151	6	2
稲羽西	294	12	3
稲羽東	119	6	2
川島	710	22	6
鵜沼第一	601	18	5
鵜沼第二	645	19	6

学校名	児童数	学級数	
		通常	特支
鵜沼第三	605	19	7
緑苑	102	6	1
八木山	149	7	2
陵南	362	13	3
各務	156	6	2
蘇原第一	755	24	5
蘇原第二	453	15	4
中央	357	12	5

学校名	生徒数	学級数	
		通常	特支
那加	596	18	3
桜丘	321	10	2
稲羽	266	9	2
川島	406	12	4
鵜沼	497	15	4
緑陽	311	10	2
蘇原	645	19	5
中央	744	22	4

検討委員会の資料等をウェブサイトで公開していますのでご覧下さい。（右記二次元バーコードより）

【お問合せ先】各務原市役所 教育委員会事務局 教育施設整備推進課

TEL：058-383-7302（直通） E-mail：kyseibi@city.kakamigahara.gifu.jp

